ＴＶ・ＣＭ「たったひとつのたからもの」

当ＨＰ掲示板記載と、メル友へメールで以下を簡単に発信した。「以前に紹介したことのあるＴＶＣＭの『あなたに会えてシリーズ－たったひとつのたからもの－』のお子さんのお母さんが本を出版されたようです。ＣＭは、今でも以下のサイトで見られます。
http://www.meiji-life.co.jp/personal/cm/dear/2003/

本の紹介は、以下のサイトで見られます。http://202.32.189.64/book/index.htm 」

直ぐに、あるメル友からは、「まだ買ってはいませんが、立ち読みしました。写真等もかなり盛り込まれていて、いい出来でしたよ。泣きそうになったので、読むのをやめました。家内も、別の本屋で立ち読みしていたようです。似たもの夫婦ですね・・・」とのメール。また、他のメル友からは、「今日、『たったひとつのたからもの』を早速買ってきました。まだ、読み始めですが泣き出しそうになります。最後まで読まなくてはと思いますが・・・・・写真を見ているだけでも・・・・・」とのメール。

こうしたメールをいただくと、私も本を目にしない訳にいかず、ネットで注文した。

１０５枚の写真が載っている写真集でもあり、また、私は職業柄故の感情の乏しさ(;_;)からか、届いて直ぐに２時間足らずで読み終えた。

本を読んで解ったことだが、「たったひとつのたからもの」というタイトルは、ＴＶＣＭフォトコンテストに、「子どもと生きた６年間、我が家は幸せだらけだったいう事実を形に表せる良いチャンス」との想いから亡くなったお子さんの写真を応募した折りにお母さんがつけたよう。

振り返れば、私にこのＴＶＣＭのことを教えてくれ、また、本が出版されたことを教えてくれたのは、障害のあるお子さんを亡くされた体験のあるメル友のお母さんからであった。このお母さんも、お子さんがご家族の「たからもの」であったことを、私に伝えたかったのであろう。

最近のＨＰには、何ともやり切れない想いの記載（バックナンバーレポート関係Ｐの「現代社会の障害児観の一面の検証」：参照）が続いていただけに、「たったひとつのたからもの」の記載ができることに、自分の中に「ホッと」するものを感じさせていただいている。

正に、私にとっては、このお母さんやメル友も、かけがえのない「たからもの」である。

（2003 年 12 月 05 日　記）